

# 支援戦闘機 F - 2 (空幕)



## 日米の先進の技術を結集して生まれた F - 2

F - 2 は、米国の F - 16 を、日本の運用の考え方や地理的な特性に合わせ、日米の優れた技術を結集し日米共同で改造開発した戦闘機です。昭和 63 年に F S - X とし  
て開発に着手し、平成 7 年に初飛行、12 年度に開発は完了しました。F - 16 から主  
な改造点は、旋回性能の向上のため主翼面積を増やし、軽量化のため先進材料や先進  
構造を取り入れたこと。また離陸性を高めるためエンジンを推力向上型に変え、さら  
に最新レーダーなど、先進の電子機器を採用しています。

(諸元)	乗員	1~2 (教育訓練用)人
	全長	11.5m
	全幅	11.1m
	全高	5.0m

### (エンジン)

名称	F 110 - G E - 129
推力	13.4 t (地上静止時)
型式	ターボファン・エンジン
最大全備重量	約 22 t

### (性能)

最大速度	マッハ約 2.0
装備	20mm機関砲、空対艦ミサイル、 空対空赤外線ミサイル、 空対空レーダーミサイル

[製作] 三菱重工業(株)、石川島播磨重工業(株)

[金額] 5機 488億円(平成17年度発注)